

**合併会社「エムスリーAI株式会社」を設立
～医療AIプラットフォーム事業の推進を加速～**

エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、以下「エムスリー」）、株式会社 NOBORI（本社：東京都港区、代表取締役：依田 佳久、以下「NOBORI」）及び PSP 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：八木 裕子、以下「PSP」）は、医療AIプラットフォーム事業の推進を目的とした合併会社であるエムスリーAI株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：杉原 賢一、以下「エムスリーAI」）の設立に関して合意したことをお知らせいたします。

（※）2022年4月1日付でPSP及びNOBORI間で吸収合併（以下「本合併」）の実施を予定しており、効力発生後の統合後新会社との合併会社設立を想定しております。本合併の詳細は、本日付でテクマトリックス株式会社より公表されたプレスリリース「[PSP株式会社の過半株式の取得及び株式会社NOBORIとPSP株式会社の合併のお知らせ](#)」をご参照ください。

1. 背景及び本件の概要

日本国内ではAIを利用した画像診断支援が保健医療分野における重点領域として挙げられており、臨床現場でのAI導入が拡がり始めています。エムスリーは、2017年にAIラボを設立し、画像診断をはじめとしたAI医療機器の開発支援など先端医療分野での事業を推進してまいりました。

PSPは、医療用システムの開発・販売及び医療関連のネットワークシステムサービスを提供しており、特に画像診断関連のシステム、ソフトウェアで顧客から高い評価を得ています。また、PSPとの合併を予定しているNOBORIは、医療関連のソフトウェア開発・インテグレーション及びクラウドサービスの提供を行っており、クラウドPACSにおいて70%以上の国内最大シェアを誇っています。エムスリーは、AIの診療現場への流通を加速させることを目的として2020年にNOBORIと事業提携契約を締結し、医療AIプラットフォーム事業を共同で推進してまいりました。

今回の合併会社設立により、エムスリーならびに統合後新会社であるPSPは、両社の持つ強みを活かし、医療AIプラットフォーム事業をこれまで以上に強力に推進いたします。

更に、合併会社設立と並行して、統合後のPSPをエムスリーの持分法適用関連会社とすることで、同社とのより強固な提携関係を構築いたします。

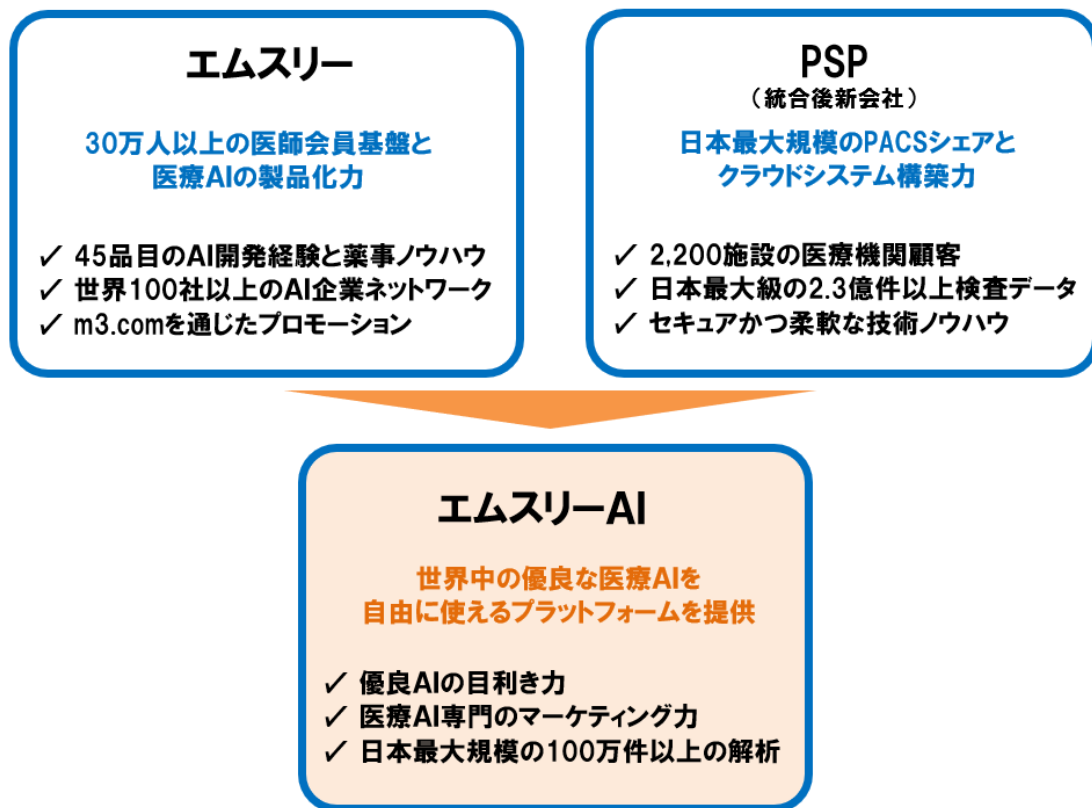
これらの取組みにより医療AIの臨床現場への流通を加速し、医療現場のDX化を推進することで、医療に向き合う医師への安心・安全の支援、そして効率的な医療の実現を通じて社会に貢献してまいります。

2. エムスリーAIの事業概要

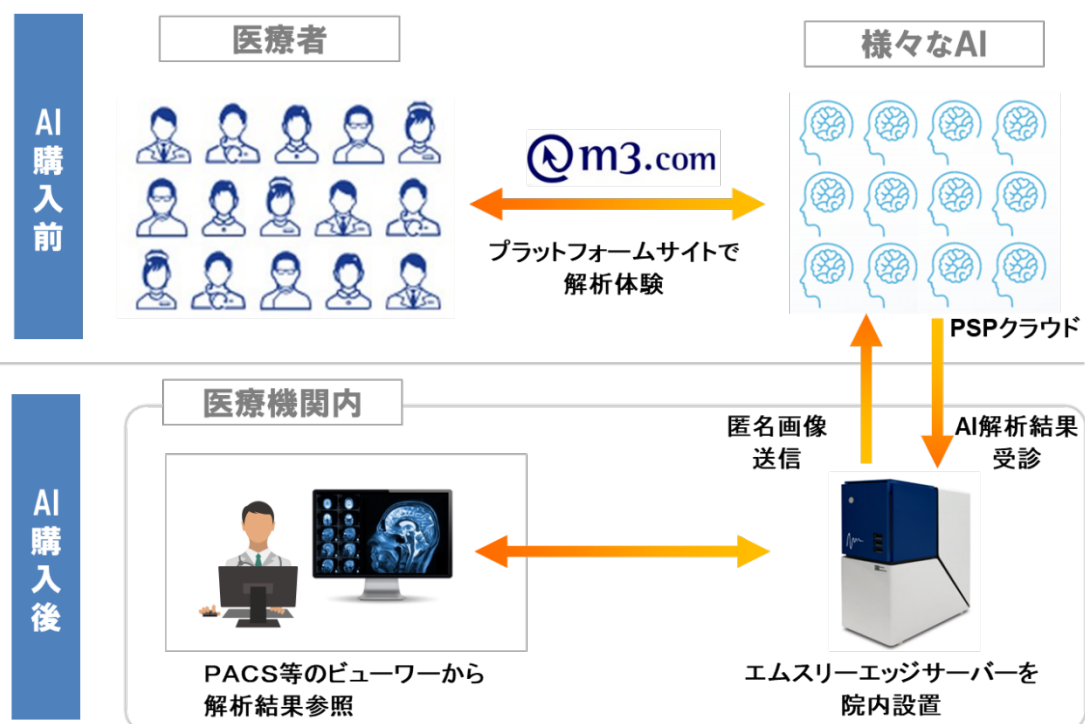
病院からクリニックまであらゆる医療機関において多様な医療AIを利用できる仕組みをプラットフォームとして提供いたします。

AIは、画像診断支援領域を中心に製品ラインナップを構築しており、部位（頭部、肺など）ごとの複数疾患に対して、使用したいAIを選択して利用することができます。導入においては、エムスリーのエッジサーバーを設置することで、PACS（医療用画像管理システム）

などの院内システムやモダリティメーカーを問わずに利用が可能となります。2020年5月のサービスローンチ以降、既に約200の医療機関で利用を頂いており、100万検査以上の解析を行ってまいりました。今後、更に優良なAIを取り揃え、多くの医療現場からの期待に応えることができるよう事業を推進してまいります。



■サービス提供イメージ



■AI プラットフォームサイト

<https://m3comlp.m3.com/lp/m3com/m3-ai-platform>

3. エムスリーAI の会社概要

- 会社名 : エムスリーAI 株式会社
- 代表者 : 杉原 賢一
- 資本金 : 3.5 億円 (資本準備金含)
- 出資比率 : エムスリー 60% (エムスリー連結子会社)、PSP (統合後新会社) 40%

4. 今後の予定

エムスリーAI は 2022 年 4 月 1 日 (金) の営業開始を予定しております。

また同日エムスリーは、統合後の PSP を持分法適用関連会社とする予定です。

【PSP (統合後新会社) の概要】

会社名	PSP 株式会社
代表者	代表取締役 依田 佳久、八木 裕子
所在地	東京都港区虎ノ門五丁目 13 番 1 号
主な事業内容	医用臨床支援システム事業